

これが区役所の課長の給与だ！

年齢 50代
子供一人

世田谷区職員の平均年齢と平均給料
(平成 20 年 4 月 1 日現在)

平均年齢	平均給料月額
44.1 歳	360,733 円

↑ 実態がわからない

ある課長の実例(6級90号) 月額 45.7 万、では年収は？

給料は 45 万 7700 円です (右下のような表示) ●さてそれでは、この課長の年収はいくらでしょうか？ ●実は年収は 1077 万になるのです。下黒板がその計算内容。

年齢	給料月額
50 代	457,700 円

実際の課長の年収

給料	455,700 円 × 12 月 = 5,492,400 円
地域手当	80,953 円 × 12 月 = 971,436 円
住居手当	8,800 円 × 12 月 = 105,600 円
扶養手当	9,500 円 × 12 月 = 114,000 円
管理職手当	91,100 円 × 12 月 = 1,093,200 円
期末・勤勉手当	4.3 月分 = 2,999,704 円
合計	10,776,340 円

●給料とか給与とか似たような言葉がありますが、給料に諸手当を足したものが給与です。期末・勤勉手当は民間における賞与に相当します。

給料の 20 倍が年収？ ●管理職手当は課長以上につき、それ以外の職員には残業手当がつきます。給料の額から年収を推定するにはざっと 20 倍すれば当たらずとも遠からずということなんです ●ちなみに一番上の表の平均年齢 44.1 歳で 36 万では年収 720 万になりますが実態に近い感じだと思います。

平成 21 年 4 月発行「せたがや 1/52」より

世田谷区議会議員 政党歴なし、ずーっと世田谷行革 110 番

おおば正明って誰？ 議会の履歴

※すべて議会議事録で検索できます。http://kugi.city.setagaya.tokyo.jp/voices/

① **なれあいの闘い開始** 昭和 62 年「世田谷行革 110 番」から立候補。組織なし、カネなし選挙で 3052 票でギリギリ最下位で当選(次点と 14 票差)。以後、議会での「弁当タダ食い事件」を始め大場区政での馴れ合いオール与党(自公社共民)の堕落を指摘し次々に襟を正させる。以後連続 6 期当選。

② **汚職課長をクビに** 平成 5 年の本会議で、「カラ会議費」の問題を取り上げ、大場区長の減給、元広報課長の懲戒免職に至る大事件に発展。全国紙が取り上げ、以後日本中の役所の不正問題追及のモデルケースに。全国各地から講師依頼多数。

③ 高額ゴルフ会員権購入スッパ抜く

独自調査で当時 100 パーセント出資の世田谷区の子会社「世田谷サービス公社」が二千万円のゴルフ会員権を買っていたことを突き止める。その後のゴルフ会員権バブル崩壊で結局数十万円で売却し大損害に。

④ **談合追及的中!** 平成 10 年 9 月議会で北沢特養ホーム建設の談合の構図を本会議で初めて明らかに。本会議で示した通りの入札結果で大問題となり、以後入札制度の改善が行われる。

⑤ **公金不正の名誉区民を公職辞任に追い込む** 平成 11 年 3 月の予算委員会で、名誉区民で体育協会会長の「公金借用事件」を追及、名誉区民返上、公職辞任に追い込む。

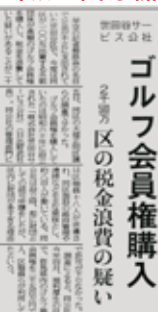
⑥ **いい加減な事業者追放** 平成 18 年 3 月議会で安全安心パトロールがサボリ放題ということ GPS 記録から調べ、いい加減な事業実態を公開、徹底した事業管理体制とチェック体制の



世田谷区元広報課長を懲戒免職



平成 5 年 11 月 25 日 朝日新聞より



平成 5 年 東京新聞

新年度予算案発表!

人件費 549 億

予算総額
2489 億

区の収入はいくらか?

■1月末に発表された世田谷区の新年度予算では人件費は549億円■内訳は右表の通り■では世田谷区の収入(歳入)はいくらか? 予算案によれば2489億円となっています■しかし待てよ! です。右下表で歳入の内訳をみると、「貯金の取り崩し」とか「借金」が入っています(ピンクの部分)■これはフツー収入とは言いません■また国都の支出金(生活保護費180億、子ども手当157億等々)も世田谷区を通過するだけのお金です■このように歳入といっても「ふくらまし粉」が混じっています■そこでこの「ふくらまし粉」を除いた世田谷区の「本当の」歳入はと云えば、だいたい1723億円くらいなのです(区民税+固定資産税+地方消費税+使用料収入+諸収入)■そして「本当の」歳入に対する人件費の割合は31%(549億÷1723億=0.31)■5004人(22年度)の「大組織」としては、かなり高い数字です。(5千人のうち事務系職は約半数。事務系職の3人に1人が係長以上!)■オモテ面右上の表にあるとおり、係長883名、課長110名、部長45名(平成21年当時)って多いと思いませんか?

人件費 549 億円の内訳

職員給料	417 億円
退職金	48 億円
残業代	10 億円
非常勤賃金	50 億円
臨時職員賃金	14 億円
議員報酬	6 億円
その他	4 億円
合計	549 億円

予算2489億円の歳入内訳

区民税	1073 億円
23区固定資産税分配金(財調)	374 億円
使用料収入	56 億円
地方消費税・他	128 億円
繰入金(貯金取崩)	133 億円
区債(借金)	95 億円
諸収入	92 億円
国都支出金	524 億円
地方特例交付金	14 億円
合計	2489 億円

※地方消費税・他には地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金・自動車取得税交付金・株式等譲渡所得割交付金を含む。
※諸収入には分担及負担金・財産収入を含む。



現状はタコ足予算あと3年で貯金食いつぶす

■さらに地方自治体も国と同じで、貯金取り崩し、借金を重ねて歳入(収入)に入れています(右上表のピンクの部分)■新年度予算案では133億円貯金を取り崩し、残りの貯金(基金)は427億円。(※同じペースで取り崩せば3年で底をつきます)■一方、世田谷区の借金総額は759億円(金利払は13億円)■このまま経済状況が好転しなければ貯金(基金)が底をつき、足りない分は全額借金で、という「借金地獄財政」に陥ります。

退職金を払うカネがないから区民サービス削減なんて公務員のすることじゃない



おおば正明

退職金を払うために区民サービスをやめる?

■増大する年金・医療・介護・子育ての、地域サービスを維持する財源問題は避けて通れません■新年度予算の人件費増は退職金の増大が最大の要因です。退職金を含めた総人件費の見直しをしなければ、区民サービスの削減ということになります。何故なら公務員の人員費は強く法的に保証されているからです(税収が下がろうが借金が増えようが、公務員給与は鉄板のように「身の丈」に収まらない!)■もちろん一生懸命働く職員はもらって当然です。左上の課長など本当に良く働いています■しかし権利をタテに、そうではない職員も年功序列で一律上がっていく「給与体系」は絶対に直さなくてはなりません■今回、公務員の給与の実態、決め方、区の財政状況をお伝えし、少しでもこの問題に関心を持っていただくことを目的に書きました■もちろん国の制度の問題が大前提ですが、国だけでは地方の問題が解決しないのも事実なのです。地方から声をあげるとともに地域の皆さんにも「まず行革の徹底」と叫んでいただきたいと思う次第です。(世田谷区議 おおば正明)

業者に替わる。以後世田谷区の犯罪認知件数は減る方向に。

⑦ **情報公開を徹底** 平成 19 年 3 月議会で政務調査費の全額収書インターネット公開の完全情報公開の議案を提案し可決実現(全国初)

⑧ **議員提出議案** 平成 21 年 3 月議会で選挙管理委員の日額報酬にする議員提出議案を提案。自公等の反対で否決。

⑨ **食の安全に厳しく** 平成 21 年 9 月決算委員会で1600 万円の中学校給食費会計事件を追及。管理体制の不備を指摘、決算認定に反対。

⑩ **ずさん経営を告発** 平成 22 年 9 月決算委員会で『世田谷サービス公社』が経営するキャロット 26 階のレストランの杜撰経営を追及。20 億円にもものぼる貯金があることを突き止める。また不正な株取り引きの実態を公開。